

令和8年

# 雲南市議会 6月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和8年6月15日～6月17日】

令和8年雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	6/15(月) 9時30分～	17／佐藤 隆司	一問一答	1～2	11	6/17(水) 9時30分～	9／高橋美佐子	一問一答	22～23
2		2／原 良太	一問一答	2～3	12		18／原 祐二	一問一答	23～25
3	6/15(月) 13時00分～	16／矢壁 正弘	一問一答	3～6	13	6/17(水) 13時00分～	13／上代 和美	一問一答	25～28
4		6／廣野 祐二	一問一答	6～8	14		11／安田 栄太	一問一答	28～29
5		5／石原 忍	一問一答	8～11	15		15／中村 辰眞	一問一答	29～32
6	6/16(火) 9時30分～	7／渡辺 重光	一問一答	11～13					
7		14／中林 孝	一問一答	13～15					
8	6/16(火) 13時00分～	1／竹部 貴博	一問一答	15～17					
9		4／福間 守	一問一答	17～19					
10		12／梶谷 佳平	一問一答	19～21					

令和8年雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表

令和8年6月4日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	17	佐藤 隆司 (一問一答)	1. 教育環境のあり 方について  2. 雲南圏域の公立 高校のあり方につ いて	<p>(1)「小・中学校の適正規模・適正配置」について3月定例会の一般質問の答弁では「小・中学校の教育環境の適正規模・適正配置の方向性は今後も丁寧に議論を重ねていく必要がある」とのことであった。</p> <p>①現状、学校、地域の皆さんとどのような議論をされてきたのか。 ②教育委員会内、市長部局ではどのような議論をされてきたのか。 ③子育て・教育環境は成長する上で、逆三角形(社会教育=家庭教育・学校教育・生涯学習教育)の社会教育環境(家庭から実社会)の中で育まれることを重要視することが必要と思うが見解は。 ④人口減少が子どもたちの学びにしわ寄せ(悪影響)となってはならないことから、統廃合は避けては通れない行政の重要で喫緊の選択肢と考えるが。</p> <p>(1)文部科学省は、2040年に向けた高校の姿として高校改革の方向性(目標)「高校教育改革に関する基本方針(グランドデザイン)」を公表している。島根県は、平成31年2月(2019年)に「県立高校魅力化ビジョン」を策定している。</p> <p>①高校授業料無料化のデメリットとして、今後私立高校への選択肢の広がりの影響を懸念するがどう見通しているのか。 ②平成30年、31年に雲南市内の高校統合について一般質問をした。当時の景山教育長は「市内の中学生8割が市内の高校に進み、8クラス320人の定員ができるだけ満たされるようにしたい」との答弁であった。あれから8年も経過した現在、市内中学生の高校進学</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 「都市×地方」共生型農地維持モデルについて	<p>現状は。</p> <p>③市内3高校がそれぞれ単独校として現状の8クラス290人の定員を維持存続できるのか。</p> <p>④15年後(2040年)を見据えた雲南市内の高校のあり方を問う。</p> <p>⑤15年後(2040年)を見据えた雲南圏域の高校のあり方を問う。</p> <p>(1)市長は耕作放棄地等農地の維持管理を管理法人の立ち上げにより、農地管理を担う組織を新設し農業振興をするとのことであった。今回新聞報道された「都市×地方」共生型農地維持モデルとして市内での田植えを終えられたが、今後の展開について伺う。</p> <p>①これまでの経緯は。</p> <p>②実証段階の取組みと思うが、本市として期待するものは何か。</p> <p>③農地維持をするためには救世主と思うが、中山間地域での維持継続の課題。問題は何か。</p>	
2	2	原 良太 (一問一答)	1. 公共ます設置基準について  2. 行政財産の新たな活用方法について	<p>(1)本市の公共ます設置に関する規程は、「公共下水道事業」「特定環境保全公共下水道事業」「農業集落排水事業」に分けられ運用されているが、そもそもこの「公共下水道事業」「特定環境保全公共下水道事業」「農業集落排水事業」とはどのようなものであり、なぜ分かれているのか。</p> <p>(2)(1)の規程を統一する必要性はないか。また、規程が分かれていることにより、不公平な取り扱いは起きていないか。あるとすればそれぞれの規程を統合するなど何らかの対応をする考えはあるか。</p> <p>(1)県内他市でもいわゆるネーミングライツに関する取組みがなされている。本市でも取り組む考えはあるか。</p> <p>(2)本市の行政財産について、例えば商用看板設置などに使いたい等</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 部活動の地域移行について  4. ふるさと住民登録制度について	<p>の占用申請は認められるか。また、今後検討される余地はあるのか。</p> <p>(1) 部活動が本格的に地域展開されクラブ活動へ移行した際の、教育委員会、中学校、地域クラブ、それぞれの役割と責任は何か。</p> <p>(2) 地域クラブへの財政支援について改めて問う。これまでの一般質問以降、進展はあるか。</p> <p>(1) 令和8年3月に本制度のガイドラインが国から示された。この制度はどのようなもので、また本市にとってメリットとデメリットをどのように考えているか。</p> <p>(2) 本市の現在の取り組み状況(準備状況)と今後の取り組み予定(スケジュール)は。</p>	
3	16	矢壁 正弘 (一問一答)	1. 酷暑対策について	<p>今年の夏は、昨年以上に暑い日が続くことが予想され、気象庁は1日の最高気温が40℃以上になる日を「酷暑日」とし、本年4月に正式な予報用語として追加し、命の危険を伴う極めて厳しい暑さに対して強い警戒を呼び掛けている。</p> <p>(1) 各施設のエアコンの整備状況について伺う。</p> <p>①市内の保育園、幼稚園、こども園の整備状況は。</p> <p>②市内の小中学校の整備は100%を達成しているはずだが、以前には故障等で100%を下回った時期があった。復旧は出来ているのか伺う。</p> <p>③市内の交流センターで、夏を前に冷房が壊れたが予算がなく修理をしてもらえないとの声を聞いた事がある。今年もクーリングスペースの対策が行われ、交流センターも使用すると思うが現状は。また、クーリングスペースは、交流センターのほか地域の事業所にもお願いして出来るだけ多くの施設を設けるとの事だったが、本年度</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 教育を取り巻く 諸課題について	<p>はどの程度望めるのか伺う。</p> <p>(2) スポーツ環境について</p> <p>①屋内競技について、体育館内は空気がこもり屋外以上に気温が上がり、小中学校での体育の授業、スポーツ少年団、中学校の部活動等における対策が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>②屋外競技について、屋内競技と同様に競技者(児童・生徒)の身体に大きな負担がかかる。熱中症警戒アラート発令時や酷暑日予報等、身体に影響を与える予報が出された時点でどのように対応されるのか伺う。</p> <p>③中学校の部活動は地域に移行されていく。地域の指導者だけでの対応や判断は厳しいと考える。市として統一の基準や判断等が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 年を追うごとに熱中症の患者が増加している。ケーブルテレビ等で熱中症の怖さ、発症しないための対策等、これまでに増して告知が必要と感じるが見解を伺う。</p> <p>(1) 教育施設の修繕について</p> <p>①小中学校のトイレの洋式化について、令和3年9月の段階では5年間で2.5ポイント伸びの28.1%にとどまっているとの答弁だった。状況を把握しながら計画的に整備するとの事だったが進捗状況は。</p> <p>②今後、すべてのトイレの洋式化が完了するのは何年度位を考えているのか伺う。</p> <p>③以前から質問をしているが、教育施設の修繕予算が不足していると考える。市職員が休日を使って処理(小修繕等)に出かけたという話も聞くが、人的対応にも限界があるし、職員への負担にもなる。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 建設事業について	<p>教育長の考えは。</p> <p>(2) 休園、休校となっている施設の管理について 私の地元には休園となっている施設がある。これまでも地元の振興協議会による活用や、営農組織による活用などの提案があったと聞いているが、いずれも購入価格や税制面での課題により頓挫したようだ。福岡市では「財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例」で市長が特に必要と認めるものに対し譲渡するとき、普通財産を譲与し、又は時価よりも低い価額で譲渡することが出来るとされている。本市でも何らかの検討が必要では。</p> <p>(3) 部活動の遠征手段について 先日、福島県郡山市の磐越自動車道で高校生など21名が死傷する大変痛ましい事故が発生した。</p> <p>① 中学校の部活動で生徒の輸送について、各学校はどのような対応をされているのか伺う。</p> <p>② 保護者の車に分乗して移動するケースが多々あると思うが、事故に遭遇した際の補償等の考えはどうなっているのか伺う。</p> <p>③ 移動に要する予算として、市からの支出はあるのか。又、保護者から徴収すれば部活動に入っている生徒とそうでない生徒の間に不公平が生じ、遠征の多い部活とそうでない部活との間でも不公平が生じる。各学校どのような予算組をしているのか伺う。</p> <p>④ 今後、部活動が完全地域移行となった場合、遠征の移動手段を市としてどのように考えていくのか伺う。</p> <p>中東情勢の悪化に伴いホルムズ海峡が閉鎖され原油の輸入量が大幅に減少するほか、プラスチックや合成繊維などの原材料となる「ナ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>フサ」の供給不安が強まり、各所で材料不足や資材価格の高騰が起きている。</p> <p>(1)過去 10 年間で人件費(労務単価)、建設資材等が高騰している。積算基準等は的確に改正されているか伺う。</p> <p>(2)工事発注後、建設資材が急激に高騰した場合、工事業者の受け負けないような「物価スライド(インフレスライド、単品スライド)」等の措置は考えられているのか伺う。</p> <p>(3)現在、全国的に建設資材が不足し入手がままならないと聞く。市が発注し施工が進行中の公共事業については順調に進んでいるのか。工期延期等も考えられるのか伺う。</p> <p>(4)これから発注が予定されている事業について、どのような影響があると考えているのか伺う。</p> <p>(5)水道事業で、緊急漏水修理の経費率が低いと聞く。改定の考えはないか伺う。</p>	
4	6	廣野 祐二 (一問一答)	1. 農業の地域計画 について	<p>令和 7 年 6 月定例会において、「地域計画」について質問した。あれから、1 年が経過し、その現状について伺う。</p> <p>①農地の集積率は、令和 5 年度末 16.9%、令和 6 年度末 18.7%、令和 7 年度末の目標 28.4%となっていたが、実際は 19.0%と大変低い値となっている。この要因は何か伺う。又、地域計画策定時の 10 年後の目標値は、67%となっており、単純計算で行くと、年間約 5%の上昇が必要と思われるが、見通しはいかがか伺う。</p> <p>②農林水産省によると、2024 年度時点で、農地の所有者が別の市町村にいる農地が全体の 11%を占めているが、雲南市ではどうか伺う。</p> <p>③最新の基幹的農業従事者の数と平均年齢、認定農業者数について</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 学校の在り方について</p> <p>3. 空き家対策等について</p>	<p>伺う。</p> <p>④最新の集落営農組織数とその内の法人数、法人割合について伺う。</p> <p>⑤「地域計画」の目標達成のための、農業委員会の役割について伺う。</p> <p>本年5月の「議会と語ろう会」において、市民より、特に極小学校や、学校の在りに方ついでの意見が噴出したと感じている。</p> <p>①雲南市の小中学校において、大規模校、中規模校、小規模校、極小規模校の定義と、その数を伺う。</p> <p>②文部科学省等によると、中規模校が適正規模校と言われていると思うが、雲南市教育委員会の見解はどうか伺う。</p> <p>③令和8年3月定例会の一般質問で、「希望する学校へ就学させるために住所移転すると言った話は聞いたことはある。」との答弁であったが、現在も同じ認識か伺う。</p> <p>④極小校等の地域、保護者を中心に聞いて回ったところ、地域によって異なるが、かなりの数の児童生徒が、住所変更して希望する学校に入っている現状が確認された。このことをどう考えられるか伺う。</p> <p>⑤極小規模校又は小規模校がある地域の保護者の多くが、統合を希望している場合があると思うが、見解を伺う。</p> <p>⑥このような現状の中、市として、雲南市全体を俯瞰した中で、学校の統合計画を含め、早急に検討すべきだと思うが、見解を伺う</p> <p>アメリカ・イスラエルとイランとの戦争勃発により、特に石油製品価格の上昇と供給不安が起り、円安や人手不足等で、住宅価格が上昇している。このような現状の中で、新築をあきらめ、中古住</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>宅への需要が拡大傾向であるといわれている。</p> <p>①最新の空き家件数がどの程度あるか、又、その調査はどのように行ったものか伺う。</p> <p>②中古住宅の需要拡大の中、空き家の利用は、有意義だと思うが、見解と、懸念事項について伺う。</p> <p>③空き家の再利用を考えた場合、なるべく早く流通ルートに乗せることが重要である。そのための方策をどう考えているか伺う。</p> <p>④Uターン、Iターン、外国人労働者等を受け入れるための住宅事情は、良好に進んでいるか伺う。</p> <p>⑤外国人労働者は、雲南市においても、300人以上が働いており、今後も人手不足の中、増加することが考えられる。又、令和9年4月からは、技能実習制度から育成就労制度に変更され、一定の要件により、転籍が可能になる。すなわち、就労環境に加えて、ますます住環境を含めた地域の魅力化が重要になる。外国人労働者は、入国後速やかに住居が必要であり、公営住宅も利用できるよう、雇入れ主が賃貸契約をできるようにならないか伺う。</p>	
5	5	石原 忍 (一問一答)	1. 市長施政方針について	<p>(1)次期一般廃棄物処理施設整備について。</p> <p>次期一般廃棄物処理施設整備については、施設整備費の再算定やごみ処理業務を外部委託した場合の経費試算を行うなど、再検討に必要な基礎資料を作成・整理してきた。基本構想時122億円だった施設整備費は、物価動向等を踏まえ再試算を行った結果、敷地造成費や周辺整備費も含め約210億円が必要となる見込みとなっており、ごみ処理業務を外部に委託するほうが経費的に有利となる試算結果となった。最終的な結論は、経費面のみならず、様々なメリ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>ット・デメリットを含めて総合的な判断が必要と考えているが、現時点では将来にわたる市政運営を見据えた際、現状計画どおりに施設整備を行うことは難しいと感じている。今後においては、早急に整理した基礎資料に基づき、当市の考え方を今議会でも説明を行うとともに、市政懇談会等を通じて意見を聴取しながら、可能な限り早急に最終的な結論を決定していくと述べておられる。この事について4点市長に伺う。</p> <p>①施設整備を行うことは難しいと感じているとのことだが、外部委託する方向で考えているということか。</p> <p>②整備費総額で約210億円掛かる試算結果となったとのことだが、施設のレベルや処理機器等が、高水準か中程度のものなのかなどにおいても大きく違うと思うが、どの程度の水準の施設整備を見込んで試算しているのか。</p> <p>③早急に基礎資料を整理し今議会でも説明するとのことだが、議会中のどのタイミングでどのような形で説明されるのか。</p> <p>④市政懇談会で意見聴取するとのことだが、どのような説明をされる考えなのか。</p> <p>(2)社会体育施設について。</p> <p>大東公園体育館については、大東体育文化センター廃止後の利用調整の状況やニーズ調査を行ってきたが、現時点では、大規模な施設拡張等の必要性が確認できておらず、引き続き、定期的な利用者以外の把握や、地域スポーツ活動の拠点となっている大東公園体育館を使い続けていくために必要な事項の検討を行うと述べておられる。この事について2点市長に伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 公立病院に対する交付税措置拡充に伴う繰り出しについて	<p>①大規模な施設拡張等の必要性が確認できていないとの事だが、これは今後も現状の施設規模で運営して行くということなのか。また、拡張はしないとうことであれば、現状として団体の利用人数は年間約 28,000 人程度あるようだが、今の規模で十分利用可能であると判断されたということか。</p> <p>②大東公園体育館を使い続けていくために必要な事項の検討を行うとされているが、必要な事項の検討とは具体的にどのようなことなのか。</p> <p>(1)公立病院の経営は全国的に大変厳しい状況にあり、令和 6 年度決算において、全体の経常収支は過去最大を計上した令和 5 年度の 2,099 億円の赤字額を上回る 3,952 億円となっており、赤字病院の割合も過去最大の約 83%となっている。</p> <p>このような状況の中で、総務省は中でも厳しい状況が深刻化している不採算地域の医療提供体制を確保するため、令和 8 年度の拡充分として、不採算地区において、二次救急など地域医療の中核的な役割を担う不採算地区中核病院がその機能を維持できるよう、不採算地区中核病院への特別交付税措置の基準額を 30%引上げるとしている。また、令和 8 年度地方財政計画の公営企業繰り出し金において、病院事業分が全体で令和 7 年度は 7,877 億円だったものが令和 8 年度は 8,533 億円となっており、約 6%増額されている。</p> <p>交付税は病院分であっても直接病院に交付されるものではなく、まとめて自治体に交付される。その事で病院に対して適正に繰り出されていない現状も見受けられる。そのような事がないよう、今回の交付税増額措置分についても、公立病院である雲南市立病院に対</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 小・中学校の集約・統合などの方向性について	<p>して市からその相当額をしっかりと繰り出すべきであるが、市長の見解を伺う。</p> <p>少子化が進む中で、小・中学校の児童・生徒数の減少も顕著である。この現状の中においても市長は、学校規模の大小にかかわらず地域に根差した特色のある教育を実践している、学校と地域が一緒になって子どもたちを育てているなどの考え方の基、小・中学校は基本的には現状維持との方針を示している。しかし、実情として全校児童数が十数人、数年後には数人になる小学校もある。この実情にしっかりと目を向け、子どもたちのためにも小規模学校について、集約などの方向性を示すべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p>	
6	7	渡辺 重光 (一問一答)	1. 消防団格納庫について  2. 吉田小学校について	<p>(1) 団員の減少、勤め先の関係等により緊急時の集まりが悪くなってきており、格納庫は5～6年前から一ヶ所の集約型にしてほしいと各方面隊から要望も出ていた。例えば2台ある格納庫に出動定員数が揃った1台から出動できるため、集約型にすることが活動しやすくなると思うが考えを伺う。</p> <p>(2) 現在、西日登分団の集約型格納庫は検討に着手しているが、各方面隊からも同様の要望が多数出ているようである。現状どの様な状況なのか伺う。</p> <p>(3) 何ヶ所も一斉に建て替えの計画を進めるのは無理だと思うが、団員の活動のためにもトイレ、休憩所は必要だと思う。そして消防団の拠点として消防団活動に対応できる格納庫が必要になってくる。そのためにも、長期計画を立てるべきだと思うが見解を伺う。</p> <p>(1) 住民から吉田小学校は現在2年連続して入学生が0人で、来年度も0人の見込みのため、小学校存続に危機感を感じていると聞いて</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 掛合体育館について</p> <p>4. 農業の基盤整備事業について</p>	<p>いるが、市はどのような考えなのか伺う。</p> <p>(2) 市長は、かねて住民からの意見を主体にしたいと言っていたが、住民の中には、「小学校は築 48 年となっているので、小学校と中学校を統合したらどうか」という意見も聞くが、こうした声は、市長に届いているのか、いないのか伺う。</p> <p>(3) 市の考えをきちんと説明して住民と話し合い、取り組まなければいけない時期となってきていると思うが見解を伺う。</p> <p>(1) 市長は、掛合体育館は新築の方向を言っていたが、変わりはないのか伺う。</p> <p>(2) 掛合町の住民は市長の言葉を信じて胸を膨らませている。少子高齢化の真只中で、中心部とは違い周辺地域の利用率は必ずしも上がらないと思うが、それだけを事業実施の指標とされては、周辺地域の夢がなくなる。掛合体育館は、掛合太鼓などの郷土文化の伝承、柔剣道場、スポーツ振興、放課後児童クラブの運動活動での一時利用等を含めた複合施設であり、町の地域振興にとって必要不可欠の施設である。体育館施設は、市の中心に一ヶ所あればよいというのではないと思うが考えを伺う。</p> <p>(1) 農地の基盤整備事業に個人で使える補助金は、市単土地改良事業補助金であり市全体で年間 200 万円である。例えば暗渠排水事業で 70 メートル行くと約 77 万となるので 3/10 の補助率で 23 万の補助になる、これから計算しても年間 7~8 件くらいの予算規模に過ぎない。</p> <p>新年度の始まる 4 月 1 日の 8 時 30 分~9 時までに 3 件くらい並ばれる時があると聞いているが、そういう状態では 2 日間でこの事業は</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>完了になる。周辺地域では、この事業を使い農地を守っていく考えの人が多いが、補正対応をする考えはないのか伺う。</p> <p>(2)市全体の需要に対して事業量が追いついていないと思うが、来年度から事業拡大する考えはないのか伺う。</p> <p>(3)圃場整備事業を行ってから 40 年以上にもなると、畦畔等を含む水田の状態が悪くなり、再圃場整備を望む声を聞く状態になっているが、採択は面積規模の大きい団地型水田が優先になっているように思えるが、面積規模の小さい周辺地域とで採択に対する差異があるのか伺う。</p> <p>(4)圃場整備事業を申し込んでも、採択まで数年かかり、事業実施はさらにその先数年かかると、経営の見込みがたたない。耕作反別の小さい周辺地域では、耕作放棄地が増え、荒廃農地に拍車をかける可能性が高い。農地を守るためにも、早く整備事業に取り組んでもらいたいと思う。先般、掛合町において基盤整備事業の希望を取りまとめたと思うが、その後市としての作業はどのように進んでいるのか、現状及び今後どのように対応されるのか伺う。</p>	
7	14	中林 孝 (一問一答)	1. あらどげんになったについて	<p>(1)平成 8 年に加茂町岩倉地区で 39 個の大量の銅鐸が発見されて今年で 30 年目を迎える。記念行事の計画はあるか。</p> <p>(2)天平 5 年に出雲国風土記が編纂され 7 年後に節目となる 1300 年を迎える。出雲国風土記には雲南市内の各所が記されており、本市は記念行事に相応しい地と考える。市長の考えを伺う。</p> <p>(3)JR 木次線の存続、活性化対策について伺う。これまでの市の施策は効果を上げているか、市長に伺う。</p> <p>(4)JR 芸備線は日本初となる再構築協議会が立ち上がって今年で</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>3年目を迎え、今年度中には方向性を出すことになっている。同協議会の進捗状況の評価と JR 木次線への影響、対応策について市長に伺う。</p> <p>(5) C56108 蒸気機関車の JR 木次駅前移転について 2 年半前に出された請願を議会は採択した。その後、市長の動きが全く見えない、どうなっているか。</p> <p>(6) 蒸気機関車の移転に併せ、木次駅前の再開発に期待をかける市民は多い。また、駅前にはチェリヴァホールなど市に関連する施設や民間の商業施設も多くある。朝夕の通勤通学時には多くの人で賑わい、活性化には市民をはじめ企業からも期待は高い。期待に応える考えはあるか、市長に伺う。</p> <p>(7) 次期一般廃棄物処理施設(ごみ処理施設)について議会(議員)と市長との議論は始まっておらず、また、2 町との協議もまとまっていない。こうした中、来月から順次開催予定の市政懇談会に於いて同施設が取り上げられる予定だ。議会との議論も十分に出来ていない状況で市民に何を説明するか。</p> <p>(8) 掛合体育館建設については市民から反対の声が多い。市政懇談会に於いては掛合体育館建設についても市民に対する丁寧な説明が必要だ。反対の声には市長自ら先頭に立って説明しなければならない、逃げてはならないと考えるが市長の考えを伺う。</p> <p>(9) 吉田町内へ自衛隊施設を誘致する動きがある一方、反対派の動きもある。市としてどう対応する考えか。</p> <p>(10) 雲南加茂スマートインターチェンジが開通して 4 年が経過する。企業誘致などに大きな成果が見られない。市長はスマートイ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 教育環境について	<p>ンターチェンジの活用策をどう考えているか。</p> <p>(11)民間造成地で公共ます設置基準が旧町で異なる。統一すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)加茂こども園の遊具や加茂小学校体育館のトイレが壊れて市民から苦情が出るような事案が多くある。老朽化した校舎も問題だ。対策が急務と考えるが市長の考えを伺う。</p> <p>(2)市内小中学校は小規模校が多い。児童生徒の立場、教育上の観点から問題ないか。また、小規模校(小学校)の放課後における児童対策について問題はないか、市長に伺う。</p> <p>(3)人口(出生数)減少下における学校の在り方について市長の考えを伺う。</p> <p>(4)教育長は独立した機関として真に子どもや教師の立場にたって教育行政を進めなければならないと考える。教育委員会制度に基づき、首長からの独立性は発揮されているか。</p>	
8	1	竹部 貴博 (一問一答)	1. 農業における若手人材の活用について	<p>農業従事者の高齢化や担い手不足が深刻化する中、本市においても農繁期の人手不足や後継者不足は大きな課題となっている。地域の実情に応じた仕組みづくりが必要ではないかと考える。</p> <p>(1)農業の担い手不足及び農繁期における人手不足の現状認識について市長の見解を伺う。</p> <p>(2)大学生等の若者が農業へ短期的に参画できる仕組みづくりについて、見解を伺う。</p> <p>(3)農業アルバイトアプリや大学連携等を活用した人材マッチング支援の可能性について伺う。</p> <p>(4)交通費や宿泊費の支援、農家との交流等を含めた若者が農業に参</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 桜まつりにおける交通渋滞対策と公共交通利用促進について</p> <p>3. 公共施設のネーミングライツと官民連携の在り方について</p>	<p>画する制度の検討について、市長の見解を伺う。</p> <p>本年の桜まつりは約7万人の来場者があり、初日が雨天だった影響から、2日目に来場者が集中し、交通渋滞が発生した。その結果、市民バスの大幅な遅延や、周辺住民の日常生活にも支障をきたすなど、市民生活へ大きな影響を及ぼした。</p> <p>観光振興と市民生活の両立を図るため、今後の交通対策とそれに関する観光財源確保の在り方について伺う。</p> <p>(1) 交通渋滞及び市民生活への影響についての認識と今後の交通対策を伺う。</p> <p>(2) 市民バス及び JR 木次線利用促進の観点から、臨時駐車場の有料化について見解を伺う。</p> <p>(3) 交通対策や桜保全等の費用について、来訪者から一定の協力を求める仕組みづくりについて、考えを伺う。</p> <p>(4) 観光振興と市民生活の両立を図るため、今後どのような桜まつり運営を目指すのか、市長の所見を伺う。</p> <p>人口減少や施設老朽化が進む中、公共施設の維持管理費は今後さらに大きな財政負担になることが想定される。そのような中、近隣自治体では公共施設に企業名や愛称を付与する「ネーミングライツ」を導入し、新たな財源確保や官民連携につなげる取り組みが進められている。本市においても、公共施設の持続可能な運営や財源確保、更には企業との連携強化の観点から、導入可能性を検討すべきではないかと考える。</p> <p>(1) 公共施設維持管理費の現状と課題認識について伺う。</p> <p>(2) ネーミングライツ導入による財源確保及び導入可能性がある施</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 学校部活動等における移動時の安全管理について	<p>設について伺う。</p> <p>(3) 公共施設の持続可能な運営に向けた財源確保及び官民連携の在り方について、市長の見解を伺う。</p> <p>本年5月、福島県の磐越自動車道において、高校部活動の遠征中にマイクロバス事故が発生し、生徒が死亡する痛ましい事故が起きた。事故を受けて、いわゆる「白バス」行為や、学校部活動における移動手段、安全管理体制の在り方が全国的な課題として取り上げられている。そのような中、児童生徒の安全確保を最優先に、遠征や大会参加時における移動手段の安全性確保や、運行体制の確認、学校、教育委員会、保護者間の情報共有体制を改めて点検する必要がある。</p> <p>(1) 部活動の遠征時の移動手段、貸切バス利用時における安全管理や契約内容確認等の現状について伺う。</p> <p>(2) いわゆる「白バス」行為の防止について、本市の対応状況を伺う。</p> <p>(3) 保護者や教職員による送迎負担及び安全管理上の課題について伺う。</p> <p>(4) 児童生徒の安全確保に向けた今後の安全管理体制及び学校支援の在り方について、教育長の所見を伺う。</p>	
9	4	福間 守 (一問一答)	1. 高齢化と持続可能なまちづくりについて	<p>雲南市では、この20年で人口が1万人以上減少した。高齢化率は40%を超えている。高齢化と持続可能な地域づくりについて、市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 人口が減少している中で高齢者人口は増加し、とりわけ80歳以上人口は大きく増えている。15年後には団塊の世代が90歳以上となる。こうした人口構造について</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>①80歳以上人口増加をどう認識しているか。</p> <p>②地域社会への影響をどう見込んでいるか。</p> <p>(2)特に80歳以上人口は女性が圧倒的多数となっている。高齢化は福祉だけの問題ではなく、買い物、農地、空き家など、地域社会全体に関わる課題となっている。高齢になっても安心して暮らし続けられる地域づくりについて、市としてどのように取り組む考えか。</p> <p>(3)認知症の方は今後さらに増加していくことが見込まれる。認知症は誰にとっても身近な課題であり、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることが重要だ。</p> <p>①買い物や通院、見守り、地域との関わりなど、日常生活を支える環境づくりが今後ますます重要になると思うが、市としてどのような地域づくりを進めていく考えか。</p> <p>②認知症の方を支えるうえで、家族の負担や不安も大きな課題になっていると感じる。認知症の方やその家族を地域全体で支えていくために、どのような支援体制づくりを進めていく考えか。</p> <p>③来年度からの第10期介護保険事業計画の策定が進められる。今後、90歳以上人口や認知症高齢者の増加が見込まれる中、介護需要はさらに高まっていくことが予想される。住み慣れた地域で暮らし続けることを支える介護提供体制を、どのように維持していこうと考えているか。</p> <p>④人口減少と高齢化が進む中、公共施設の維持管理についても考えていかなければならない。合併前に整備された施設も多く、今後さらに更新費用や維持管理費の増加が見込まれる。限られた財源の中で、何を維持し、何に重点的に投資していくのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 人口減少時代の 学校政策と子育て 環境について	<p>人口減少が進む中、子どもの数は大きく減少している。どのような学校環境を目指すのか。子育て世代に選ばれるまちづくりという観点から、市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 子育て世代の中には、極小規模校への不安を抱く方も少なくない。</p> <p>①極小規模校への保護者不安をどう受け止めるか。</p> <p>②教育環境としてどう考えるか。</p> <p>(2) 市として学校統合の方向性は示されていない。従来の適正規模適正配置基本計画が基本となるのか。</p> <p>(3) 築50年を超える学校もあり、施設の老朽化が進んでいる。</p> <p>①古い学校施設の更新をどう考えるか。</p> <p>②財政の見通しはどうか。</p> <p>(4) 学校のあり方は、地域にとって非常に大きな問題だ。子育て世代にとっては、住む場所を選ぶ重要な判断材料にもなっている。今後の学校のあり方について、保護者や子育て世代の声を丁寧に聞く場を設ける必要があると考えるが、いかがか。</p>	
10	12	梶谷 佳平 (一問一答)	1. 中東情勢に伴う 支援について	<p>中東情勢の緊迫化で原油やナフサなどの価格が上昇し、燃料費や素材価格が広く値上がりし、品薄となっている。原材料やエネルギーの値上がりを販売価格に転嫁しにくい中小企業ほど、収益悪化リスクが大きいとされ、このため政府は、金融機関に対して中東情勢の影響を受ける中小企業への資金繰り支援や、セーフティネット貸付の要件緩和などを要請している。</p> <p>(1) 市内事業者向け資金繰り支援について 資材高騰や材料不足により受注機会を逃すことによる売上低下、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 市民の安心安全	<p>人件費上昇等に苦しむ市内事業者に対する資金繰り支援について、資金調達に伴う利息や保証料等への補助計画はあるのか伺う。</p> <p>(2)資材高騰や材料不足等で困っている市内事業者対策について 建築資材等が入荷しない、原材料の調達が困難なため、現場技能職の雇用不安や仕事量の減少が懸念されるが、中小企業や個人事業主への支援は計画しているのか伺う。</p> <p>(3)市内事業者向けの仕事づくりについて 原材料不足等から、新築住宅の着工は減少していると聞く。市では、省エネや市産材を活用したリフォーム補助事業があるが、新たな仕事づくり対策として下記支援策について伺う。 支援事例として、①断熱改修や外壁補修などのリフォーム支援、②地域の空き家改修、古民家再生プロジェクト支援、③地元大工・左官・水道工事・電気工事・木工工事等への発注メニューを明記した「地域リフォーム補助券」の発行、④住宅丸ごと耐震化ではなく、小規模耐震化支援として「一部の部屋だけ耐震化・水道の耐震化・感電ブレーカーの設置・通学路に面した塀の補強等の部分耐震化支援が考えられる。</p> <p>(4)市内事業者向けの受注機会の創出支援について 公共工事を分割(部分)発注し、地元の中小・個人事業者(大工・左官・水道工事業者・電気工事業者・木工業者等)が受注しやすくする必要があるが可能か伺う。条件として、入札条件の緩和が必須だが、可能か伺う。</p> <p>(5)企業訪問による、企業ニーズの把握は実施しているのか</p> <p>(1)鳥獣害対策について</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>について</p> <p>3. 林野火災警報について</p>	<p>①クマの緊急銃猟の進捗状況について</p> <p>②ガバメントハンターの採用計画について</p> <p>③クマ・サル・シカ等の被害対策について</p> <p>昨年度以上の強化策は、行っているのか</p> <p>④有害鳥獣被害の防止には、防止対策を組み合わせることが効果的と思うがいかがか。</p> <p>(2) スクールバスや市民バス利用者への鳥獣被害対策について伺う。 登下校時、バスの乗降場所が熊の目撃場所に近い処もある。また、学校までの通学途中・バス停までの間、有害鳥獣が出没する箇所がある。</p> <p>①バス通学希望者は、すべてバスを利用できないか。</p> <p>②スクールバスや市民バスの乗降は、バス停以外の道路沿いでできないか。(フリー乗降バス)</p> <p>(3) 新防災情報について伺う。</p> <p>①これまでと何が変わったのか</p> <p>②市民への周知はどうするのか</p> <p>林野火災の予防を目的に雲南広域連合の火災予防条例が改正され、令和8年1月1日から、林野火災注意報と林野火災警報の運用が開始された。広い雲南市、林野火災注意報・警報発令の周知対応について伺う。</p> <p>(1) 林野火災警報発令がわからず、火入れをした場合の罰則について伺う。</p> <p>(2) 林野火災警報が発令された場合、市民の携帯へメール配信はしないのか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
11	9	高橋美佐子 (一問一答)	1. 公共施設、学校等に寄付された物品の管理について  2. 地震における学校及び放課後児童クラブでの対応について	<p>雲南市が管理・運営する各種施設には、多くの書画、工芸品が飾られている。その多くは市民の皆様から寄贈されたものと思われるが、中には既に閉館された施設に飾られていたものもあるなど、それらが現在どのようなになっているか、疑問の声も寄せられている。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 廃校になった学校に残された寄付品や備品は、誰が管理・処分を決めるのか。</p> <p>(2) 自治体では公共施設閉鎖後の寄付物品をどのような基準で保管・再利用されているのか。</p> <p>(3) 廃校や施設統合の際、寄付された物品の所有権や管理責任はどう扱われ、物品は記録台帳等で管理されているのか。</p> <p>(4) 地域団体から寄付された物品の返却や譲渡は可能か。</p> <p>(5) 不要となった寄付品の処分手続きはあるのか。</p> <p>(6) 今後どのように適正管理を図っていくのか。</p> <p>令和8年1月に発生した地震では、多くの児童や生徒・保護者が不安を感じた。特に学校や放課後児童クラブにおける安全確保、保護者への連絡、避難対応などについて、改めて防災体制のさらなる強化が必要と考える。そこで以下の点について伺う。</p> <p>(1) 今回の地震発生時、各学校及び放課後児童クラブではどのような初動対応を行ったのか。</p> <p>(2) 児童、生徒の安全確認や避難誘導は、適切に実施されたのか。</p> <p>(3) 保護者への連絡体制について、課題や改善点はあったのか。</p> <p>(4) 放課後児童クラブにおける非常時マニュアルがあると思うが、停電時対応や引き渡し訓練、災害時に配慮が必要な児童への支援体制</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 雲南市立病院での災害時の対応について	<p>について、どのように取り組んでいるのか伺う。</p> <p>(5)今後の災害に備え、学校・放課後児童クラブの防災体制強化をどのように進めていくのか伺う。</p> <p>近年大規模災害時における医療体制の確保は、重要な課題となっている。特に雲南市立病院は負傷者への救急対応だけでなく、入院患者の安全確保や医療機能の維持等、災害時において極めて重要な役割を担っている。</p> <p>一方で地震発生時には停電、断水、通信障害、医療資材不足等が発生する可能性があり、普段からの備えと、関係機関との連携強化が求められると考える。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1)地震発生時、雲南市立病院における初動体制をどのように把握しているのか。</p> <p>(2)入院患者や人工呼吸器利用者など、配慮が必要な患者への対応はどのようになっているのか。</p> <p>(3)停電や断水が発生した場合の非常用電源や水の確保について、現在の状況をどのように認識しているのか。</p> <p>(4)火災訓練はよく聞くが、医療従事者の地震に対する訓練はされているのか。</p> <p>(5)災害拠点病院を中心とした地域医療体制の強化について、今後どのように取り組んでいくのか。</p>	
12	18	原 祐二 (一問一答)	1. 次期一般廃棄物処理施設について	<p>(1)現状計画(三位一体整備)と連続整備との10年間及び30年間の市実負担額について、比較・検討を問う。</p> <p>(2)可燃ごみを外部委託した場合、雲南エネルギーセンターの改修工</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 農地維持について</p> <p>3. 部活動の地域移行について</p>	<p>事が必要となる。地域・関係機関との協議状況を問う。</p> <p>(3)再検討の資料では、評価項目の分析結果と懸念点が示された。次期施設の決定において、評価項目の重要度をどう考えているかを問う。</p> <p>(4)評価項目の視点について、施設整備と処理委託の市民利益(市民負担)の比較・分析を問う。</p> <p>(5)雲南市から雲南市飯南町事務組合(いいしCC及び雲南EC)への負担金(令和6年度)と現状の計画(三位一体)及び外部委託(分散・全量処理委託)の比較・分析を問う。</p> <p>(1)市長2期目の早い段階で、担い手が見つからない農地を管理する組織を市主導でつくりたい。農業法人や集落営農組織の農地を引き受けて管理し、同時進行で次の担い手を探す。との発言から1年半を迎える、構想の進捗状況を問う。</p> <p>(2)農地維持について、必要な対策(人材確保・基盤整備など)を問う。</p> <p>(3)条件不利地が多い中山間地域での農地維持には、中山間地域直接支払交付金の拡充(単価改正)が必要ではないか。市長の所見と国への要望の是非を問う。</p> <p>(4)市単独での補助制度(機械・施設等)の継続及び拡充についての方針を問う。</p> <p>(1)中学生の合同部活動及び地域クラブ(市内外)参加者の現状を問う。</p> <p>(2)合同部活動及び地域クラブ参加者への行政支援の現状と今後の対応を問う。</p> <p>(3)部活動の地域移行の3つの柱、①移行期間中の部活運営の工夫、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 二地域居住について	<p>②ガイドライン策定、③保護者・地域の理解と協力について、現状と課題を問う。</p> <p>(4) 地域クラブへの学校及び教職員のかかわり方及び協力体制を問う。</p> <p>(1) 本市における、二地域居住の現状(特定居住計画等)と課題を問う。</p> <p>(2) 二地域居住の推進に向けた市長の所見を問う。</p>	
13	13	上代 和美 (一問一答)	1. 市民のくらしと地域経済を守る施策について	<p>(1) 円安による物価高騰に加え、アメリカによるイラン攻撃、ホルムズ海峡の封鎖等により、エネルギーや生活必需品の価格上昇と資材不足が大きな問題になってきている。第1 義的には、国際法違反の不法な戦争を一刻も早く終わらせることであるが、緊急に、市民のくらしと営業の両面に重い負担をもたらしている状況への支援が必要と考える。市長施政方針の中で総額 19 億円を超える特別交付税を受けることができたと述べられている。この一部を使い緊急的に市として機動的かつ実効性のある対策を講じることを強く求める。</p> <p>①生活困窮相談の実態を把握し、生活困窮世帯への必要な支援を市独自でも講じるべきである。</p> <p>特に、夏休みが近づき子どもたちの食事が懸念される。子ども食堂への支援、フードドライブで集めた食品を困難をかかえた家庭に配布するなどの支援が必要ではないか。</p> <p>②原油高騰や資材不足の影響により、中小企業・小規模事業者の事業継続が困難となる事例が広がることが懸念される。実態を把握し、国の補正予算待ちではなく、市として出来得る支援をすべきである。</p> <p>③国の補正予算が組まれるが、実効性ある速やかな支援ができるよ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 今年度国保料と 国保法 44 条に基 づく医療費の負担 軽減について	<p>うに、農業など一次産業への影響、医療・介護・福祉分野への影響など早急に正確な実態を把握し、臨時会での補正予算審議も視野に入れた速やかな対応をすべきである。</p> <p>④アメリカによるイラン攻撃・ホルムズ海峡の封鎖により、市民生活と地域経済に深刻な影響をきたしている。戦争の即時停止、平和こそが現状を解決できる道である。エネルギー価格高騰や資材不足の要因となっている国際的緊張の緩和に向け、国に対し、憲法を生かした外交的努力を強めるよう市長会などを通じて強く要望すべきであるが、市長の見解を求める。</p> <p>(1)国保会計の令和 8 年度当初予算では、保険料は据え置き予算となっていたが、2 年連続の国保料値上げ後の据え置きであるため、市民にとっては負担が増えたところでの据え置き保険料になっている。その上に今年度から、子ども・子育て支援納付金分も追加されることになる。昨年度納税額が決定し保険料の本算定となるが、現在の物価高の状況、イラン情勢の影響での事業継続の不安定さから見ても保険料のさらなる引き上げはあり得ないと考えるが、市長の見解を求める。</p> <p>(2)イラン情勢がこのまま進めば、事業継続ができず、休廃業や失業に追い込まれる国保加入者が出てくる懸念がある。国保法 44 条の「特別な理由」によって医療費の減額、免除などの措置が受けられる対象である。これには、事前の申請が必要であるが、市の相談窓口体制、市民への周知など個別に寄り添える体制が必要ではないか。</p> <p>(3)そもそも国保には、加入者の多くが低所得であること、くわえて、多くの加入者が高齢のためどうしても医療費がかかるという構造的</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. オーガニック給食導入について</p> <p>4. 道路の安全対策について(特に横断歩道の整備につ</p>	<p>な問題がある。その上に国が以前より国庫負担を減らしてきたために保険料の負担が増え、協会けんぽの保険料と比べ同じ世帯条件で約2倍の保険料となる。高すぎる保険料を軽減するためには全国知事会、市長会が要望する1兆円の国費の投入こそ必要である。抑止力強化と言って軍事費を増やす方向ではなく、これまで国保への国庫負担が減らされてきたことを踏まえ、国民、市民の負担軽減にこそ予算を増やすべきと考えるが、市長の見解を求める。</p> <p>(1)全国でオーガニック給食を導入する自治体が増えてきている。先般、オーガニック給食についての学習会に参加し、興味をもたれる保護者や市民のみなさんが多くおられることを実感した。食の安全、環境に配慮した農業を求める動きや昨今の肥料などの値上がりも有機農業へのきっかけになるのではないかと。農林水産省も「みどりの食料システム戦略」を掲げ、2050年までに有機農業ほ場を25%まで拡大するという大きな目標を掲げており、有機農業は今後ますます大きくなると予想できる。オーガニック給食は多くの保護者のみなさんの願いでもある。できることから導入すべきである。</p> <p>①先進地にならい、行政・生産者・保護者などとオーガニック給食のあり方など研究、検討できる組織を立ち上げられないか。</p> <p>②現在有機栽培を行っている農家や先進自治体の事例を研究し、市として農家への技術指導など導入への具体的施策を推進していく考えはないか。</p> <p>(1)横断歩道の白線の引き直しは県の公安委員会が担当しておられることは認識しているが、市内の横断歩道の白線が薄くなり、遠目で見たとき横断歩道の存在が確認できないようなところもある。市</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			いて)	内の白線引き直し要望数と整備数は過去 5 年間でどのような状況か。 (2) 国道や主な県道など交通量の多いところや通学路で要望が出ているところは市として県に強く要望をすべきでは。	
14	11	安田 栄太 (一問一答)	1. クマ対策と市民の安全確保について  2. GIGA スクール構想と生成 AI 時代に対応した教育について	近年、全国的にクマの市街地での出没や人的被害が相次いでいる。本市においても目撃情報が頻繁にあり、クマの活動範囲が拡大していると感じている市民も多くいるため、市民生活に大きな不安を与えている。 (1) 本市のクマの目撃情報は近年どのように推移しているか。 (2) 市は現在の状況をどのように認識しているか。 (3) 情報共有や注意喚起等の体制はどのようになっているか。 (4) 被害防止対策について、放任果樹や耕作放棄地等への対策が重要と考えるが、啓発や支援はどのように行っているか。 (5) 市民の不安への対応について。 ①通学路等のパトロールや見守り体制の強化について所見を伺う。 ②遭遇時の行動啓発の強化について所見を伺う。 近年、AI の技術は急速に進化している。生成 AI は生活の一部として活用している人も多く、無料で手軽に利用できることから、特に子どもを含む若い世代に普及している。便利になる一方で、誤情報の発信や拡散等のトラブルも増えているため、デジタル教育の重要性がさらに増していると考えます。 (1) 本市における GIGA スクール構想の成果と課題を伺う。 (2) 生成 AI に関する教育をどのように位置付け行っているか。 (3) デジタルシティズンシップ教育について、これまでの成果と課題	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				を伺う。 (4)デジタルシティズンシップ教育と生成 AI 教育を一体的に推進すべきと考えるが所見を伺う。	
15	15	中村 辰眞 (一問一答)	1. 防災について	<p>今年も半年を過ぎ出水期を迎え防災について考える時期が来た。気象庁が令和 8 年 5 月 28 日から新たな防災気象情報を提供開始し、大雨・土砂災害・高潮の危険度を色で明示する。このような中、住民の防災に対する意識も向上し、個人だけではなく地域としても広域的により安全な避難場所の確保やマイタイムラインの作成など積極的な行動が見えている。</p> <p>(1)気象庁からの新たな防災気象情報について ①レベル別に色分けされたことは認識しやすくなったと思うが、表示内容が詳細になった分、それぞれの色が持つ意味を理解することが難しくなった一面もある。防災部及び気象防災アドバイザーの方が地域などで賢明な説明をされていることは十分承知をしているが、今年に関しては市民の中には困惑を示す方も存在するのではないかと考える。市としてあらゆるソースを駆使して市民向けに広報をするべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>②川についての情報は各河川の規模により 2 種類に分かれる。市内最大の河川は斐伊川である。三刀屋川や赤川さらには久野川など水位が顕著に上がるような河川もあるが、これらの河川の情報として今までとどう違っているのか伺う。</p> <p>(2)マイタイムラインについて ①近年の災害発生は毎年のように国内はもとより世界的に見ても頻発している。警戒はしながらもいざ発災した時には慌ててしまうの</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>ではないかと考える。特に平日の昼間など家族の居場所が離れているときなど、どのような行動をとるのかを家族で話し合いそれぞれのマイタイムラインを作成していくことが大事であると考えている。市として市民の生命を守るアイテムの一つとなるマイタイムラインの作成をいかに促していくのか見解を伺う。</p> <p>(3)避難訓練について</p> <p>①市役所本庁舎や総合センター、関係する建物における避難訓練はされていると思う。訓練に際してどのような発災を対象とした訓練であるのか伺う。</p> <p>②訓練の際、市民在庁の想定で行っているのか。</p> <p>③本庁舎では全館対象の訓練であってほしいと願うが、特定のフロアや部局を除くなど実際の業務中を想定した訓練を行っていないところはないか。</p> <p>(4)避難場所確保について</p> <p>①島根県畜産技術センターが移転し、跡地について島根半島向け備蓄庫の整備が検討されている。そもそも突然移転し直下の住民に跡地利用についても何ら説明もなく物事が決まり突然ドローンが飛び交い測量していますといわれても困惑するのみである。このような県の雲南市民への対応を市長は了とするのか見解を伺う。</p> <p>②この場所は、地王峠の登頂部にあり標高は約70メートルである。時として、下熊谷ふれあい会から下熊谷地域の避難場所に使えないかとの提案があり地域要望としても提出した。三刀屋町の地王、旭町、東町、下熊谷および町の中一帯の皆さんや木次町下熊谷、西日登、上熊谷など利用可能となる地域は大きく、平成記念病院が近く</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 市役所の車いす マーク付き駐車場 について	<p>であることも最大の利点ではないかと考える。現時点(通告作成時)では回答ないが県の反応について伺う。</p> <p>(5) 令和8年1月6日に発生した地震発災直後の対応について</p> <p>①木次線南大東駅から木次駅間の2か所の踏切で「特殊信号発光器」が発光し、長時間にわたり遮断機が下りた状態で通行不可能となった。この2か所には踏切が開かないことを伝える誘導員的な人員の配置がなく、いつ開くかわからない車列が幾度となくできた。踏切の開放に来た作業員の方は、JRの指示がなければ勝手に解放できないと話していた。このことを教訓として、市とJRとの間で双方の対応について取り決めをすることが必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>本庁舎に車いすマークの書かれた駐車スペースがある。本来スペースは身体障がい者等用駐車場と言い、身体に障がいのある方が、施設を利用しやすいよう、施設に近くスペースも広く(幅3.5メートル)つくられている。しかし、障がいのない方が身体障がい者等用駐車場に車をとめているため、とめられないという事案が多発した。これに伴い島根県では、平成20年12月3日から、本当に身体障がい者等用駐車場を必要とする人に県内に共通する利用証を交付することで、駐車場を利用できる人を明らかにし、駐車スペースを確保する「身体障がい者等用駐車場利用証制度(愛称:思いやり駐車場制度)」が実施された。</p> <p>(1)利用にあたっては利用証をルームミラーに掛けるなどして、外から見える位置に提示するように求められている。どのような方に対して利用できるかと利用証には描かれているか。</p> <p>(2)利用証に描かれていないものとして、ベビーカーがある。ベビー</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				カーを車から降ろし、赤ちゃんをのせて荷物を背負うなど親にとって、一般の駐車場ではスペース的に狭く一連の動作が行いにくいと考える。車いすマークのある駐車スペースにベビーカーマークをわかりやすく明示できないか見解を伺う。	